

令和 3 年度
学校関係者評価報告書

令和 3 年 11 月

学校法人昭徳学園
九州動物学院

学校法人昭徳学園九州動物学院は、平成 16 年に設立され、学校法人化して 3 年となるところです。専修学校の学校評価につきましては、自己点検評価、学校関係者評価の実施・公表が謳われており、昨年度本学院でも自己点検評価を実施公表したところです。

今年度は実践的な職業教育取り組んできた本学院においても、更なる教育の質保証および向上を目的として、自己点検評価をもとに学校関係者による評価を実施することにいたしました。関係団体、行政、大学、企業関係などの分野の第一線で活躍されている先生方に委員をお願いし、学校関係評価を実施いたしました。

今回の評価を真摯に受け止め、職員一同今後とも業界と地域の期待に応えられる学校運営に努める所存です。

今後とも、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 11 月

学校法人昭徳学園 九州動物学院
学院長 徳田 昭彦

1 学校関係評価の実施方法

本学院が学校関係評価については、令和元年度に実施した「学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について、本学院に関係のある4名の評価委員に評価していただいた。

評価の結果については、報告書として取りまとめホームページ上で公開することとした。すでに公開している、「令和元年度自己点検・評価報告書」と合わせてご覧ください。

2 学校関係評価委員一覧表

名前	所属	任期	種別
芝田 猛	東海大学名誉教授	2020年9月30日 ～2022年9月29日	専門家等 評価委員
津田 圭子	熊本市動植物園獣医師	2021年4月1日 ～2023年3月31日	専門家等 評価委員
前田しのぶ	イノセントランド代表 ペットアロマコーディネーター	2021年4月1日 ～2023年3月31日	企業・専門家等 評価委員
藤堂 恵子	ペットショップ R-one 店長	2021年4月1日 ～2023年3月31日	企業・専門家等 評価委員
井上 竜一	九州動物学院同窓会幹事	2021年4月1日 ～2023年3月31日	同窓会 評価委員

3 学校関係者評価委員会日程

- ・令和3年9月22日（火）14時00分
- ・オンラインで開催

出席委員	職 業	カテゴリー
芝田 猛	東海大学名誉教授	学識経験者
前田しのぶ	イノセントランド代表	専門家
藤堂 恵子	ペットショップ R-one 店長	企業
井上 竜一	九州動物学院	同窓会代表

学院参加者

九州動物学院	学院長	徳田 竜之介
同	顧問	山田 進二
同	副学院長	本田 公三
同	教 頭	高木 弘和
同	事務長	林 典子

4 評価会議次第

次第

(1)開会

(2)学院長挨拶

- ・学院長から、学校関係者評価委員会の趣旨並びに「高等教育修学支援制度」の指定を受けたこと「職業実践専門課程」の認可を受けたことについて説明。
- ・藤井琢磨委員、本田敏裕委員の任期満了に伴い、新委員に津田圭子委員、前田しのぶ委員、藤堂恵子委員を選出し委嘱。井上委員は再任

(4)委員長選出

- ・芝田委員を委員長に選出

(5)学校関係者評価概要の説明

- ・事務局より学院の事業活動、「高等教育修学支援」の対象校決定、文科省「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定となった経緯について説明

(6)令和2年度自己点検・評価報告

- ・事務局から「令和元年度学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について説明

(7)報告に関する意見交換

- ・各評価委員から、自己点検評価及び学院活動全般に対するご意見、ご指導をいただいた。

(8)その他

- ・今後の予定等

(9)学院長謝辞

(10)閉会

4 内 容

自己点検評価で行った各評価項目について、エビデンスとなる資料のもと、学院長から令和2年度自己点検評価報告に基づき学院運営等について説明をした後、各委員から意見を聞いた。

1 教育理念・目標

芝田委員

- ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの学院の3つのポリシーはその後どうなったか。

学院長

- ・今年度3つのポリシーを策定し、入学、カリキュラム、卒業に関する本学院の概要を示した。さらに教職員、学生に具体的な行動目標を示し、意識づけを図りたい。

2 学校運営

井上委員

- ・校務分掌の明確化しているか。
- ・職員会議・部門別会議など実施しているか

学院長

- ・校務分掌については今年度、教務課の職員補充による体制の強化を図ったところ。ICT部門の専門職員を配置し、ハード、ソフト面のシステムを構築し、遠隔授業可能な体制とした。
- ・また職員会議は各週に実施し、職員の業務進捗状況の共有を図り意識向上につなげている。

3 教育活動

前田委員

- ・関連企業との連携を深め充実した実習体制が必要ではないか。

芝田委員

- ・学院運営に学生保護者へアンケート調査等を行ったかどうか。
- ・進級・卒業判定会の基準があるのか

学院長

- ・実習における関連企業との連携においては、「職業実践専門課程」の取組でも取りまとめており、多くの企業と連携しているところであるが、更に実習評価等について、コロナ禍の中ではあるが可能な限り取組んでまいりたい。

4 教育成果

藤堂委員

- ・インターンシップの1年次に意識づけはどうであったか。また、

学院長

- ・インターンシップについては、その意義をはじめ社会に出るうえで準備、心構え等十分理解し活動できるように徹底したい。実習先の評価については具体的に評価できるシートを作成した。

5 学生支援

井上委員

- ・学生一人ひとりに対して進路・就職に関する支援体制は整備されているが、保護者の理解は得られているのか。

学院長

- ・学生、保護者、教職員は常に情報を共有できるように、学院活動の様子を「九動通信」として発行している。またケースごとに電話連絡、保護者来校、自宅訪問等様々な形をとりながら最善を尽くしている。

6 教育環境

芝田委員

- ・学生が学習意欲を持てる環境をどのように作出しているか。

学院長

- ・学生のどのような問い合わせにも対応できるようにしている。個別の面談も定期的に行っており、修学環境を整えていきたい。
- ・毎朝、学院長講話を実施し専門性はもとより、就職活動への最大のモチベーションとなる動機付けにつながる話などを行っている。

7 学生募集と受入れ

井上委員

- ・学生募集活動はどうか。

学院長

- ・高校の先生方が認識を共有していただくため、志望する生徒の学校の進路担当および担任には必ず状況をお伝えし協力が得られるように活動している。また、来年度動物看護学科を3年制とするため、県内高校を対象に本学院内で進路説明会を昨年11月と今年6月に開催し学生生活、就職状況等を丁寧に説明し、様々な質問にもお答えしている。
- ・高校生、高校からの問い合わせも増えてきており、学校の先生への学院の認知度が高くなってきていると実感している。入学志願者も増えてきており昨年は多くの出願があった。

8 財務

芝田委員

- ・昨年度の財務状況はどうか。

学院長

- ・令和2年度は54名、令和3年度55名年度入学している。収入増とともに教育活動の充実に向け備品整備のため予算化している。

9 法令順守

芝田委員

- ・自己点検・評価を充実するための工夫はどうか。
- ・職員と地域の関係はどうか。

学院長

- ・職員一人一人の意見をボトムアップし、地域との連携も含め充実した教育活動に繋げるため、自己点検評価と学校関係者評価を活用したい。

10 社会貢献・地域貢献

前田委員

- ・地域との連携をふかめるためのボランティア活動はどのようなことを行っているのか。

学院長

- ・熊本地震時に開設し熊本市へも要望していた「動物同伴避難所」について、市と開設に関する協定が実現し、動物の社会的地位向上につながっていると確信している。
- ・また、熊本県市の愛護センターに収容される多頭飼育崩壊の多くの猫を学院で接触的に引き取り、学生主導による飼育と譲渡会を開催し譲渡につなげている
- ・セキスイハイムの動物共生住宅展示場においてトリミングなど学生ボランティア、愛護団体による譲渡会への積極的な学生参加等をととして社会貢献に寄与している。

11 国際交流

芝田委員

- ・国際交流についてはどのようなになっているか。

学院長

- ・毎年行われている、海外研修では動物福祉の先進国に行っており、獣医科大学、看護大学、動物病院、愛護協会などを訪問し、学生はその交流を通して見聞を拓けているが、コロナ禍の中で昨年と今年は中止を余儀なくされている。
- ・今年はバリ島狂犬病対策について協議を進めており、学生交流も併せて検討していきたい。

・ご意見をいただいた後、各委員に学院施設を視察していただいた。最後に学院長からの謝辞があり閉会した。